

甲子園 〜鳴尾浜・西宮浜

ぷらっとウォーク 西宮探訪MAP

高校球児の憧れの地で、阪神タイガースの本拠地でもある甲子園球場。この球場と共に街が発展しているのも、もともとリゾート地であったという歴史からも知れません。その面影を残す旧甲子園ホテル。新たなリゾート地として多彩な楽しみ方ができるベイサイド。アクティブに過ごしたいエリアです。



西宮市観光キャラクター
みやたん



ぶらっとワーク
西宮探訪

MAP3

甲子園～鳴尾浜・西宮浜



甲子園球場と共に



高校野球にプロ野球、野球シーズンには連日の賑わいを見せる阪神甲子園球場。その歴史は古く、開場は大正13年(1924)。甲子(きのえね)の年に出来たことから甲子園と名づけられました。平成22年(2010)3月に誕生した甲子園歴史館では、そんな球場

の歴史をはじめ、高校野球、阪神タイガースの歴史を知ることができます。甲子園球場の周辺には必勝祈願に訪れる素盞鳴神社や、高校球児や野球選手が通う飲食店があるほか、高校球児が宿泊することもあるため、市内でも旅館などの宿泊施設や野球場、公衆浴場までが集中するなど、甲子園球場と共に街ができあがっていったことがよくわかります。

旅館の女将が語る、高校球児のちょっといい話



「うちは毎年、鹿児島県代表が宿泊しています。高校球児はいい子ばかり。みんな行儀いいし、挨拶もするし、スリッパもきちんと揃えるし、食器の片付けを手伝ってくれたりも。親の躰だけじゃあはいかない。野球だけが上手くてだめなんですよ。高校野球って。気は遣いますよ。風邪をひかないようにクーラーをかけすぎないとか、お腹壊さないように買い食いしないとか、つつい口うるさくなる。でも、体調管理とか、そういう意識の高い子が多い学校は、やっぱり強い。どんどん勝ち上がってくると田舎のお兄ちゃんやったのが、イケメンくんに見えてくる(笑)。そんな風にどんどん変わっていくのを見るのが楽しくて。毎大会ごとに、いろいろな思い出を作ってくることが、この仕事をやっていて一番のやりがいですね」
「やっこ旅館」女将 芳本三栄子さん

C-4

大力食堂のかつ井

高校球児や野球選手も通う食堂。人気の秘密は「世界一のボリューム」と店主も誇る、でか盛りの名物かつ井。完食すると願いが叶うとの噂に、必勝祈願でチャレンジする人も。

TEL.0798-49-0800
甲子園通り2-29



名物

D-4 甲子園歴史館

阪神甲子園球場、高校野球、阪神タイガースの歴史を一堂に会した歴史館。普段の野球観戦では見ることのできない球場内の裏側をガイド付きで見学するスタジアムツアー(前日までに要予約)も実施。

TEL.0798-49-4509 甲子園町1-82
10:00～18:00(入館～17:30)(季節により変動)
入館有料
休:月曜(試合開催日、祝日は除く)
年末年始、メンテナンス休館あり



博物館



A-3 西宮市貝類館

菊池典男氏から寄贈された黒田徳米博士の貝類資料、約3800種類4万点を収蔵。さまざまな環境に生じる貝の自然の不思議な世界が楽しめる。中庭には海洋冒険家、堀江謙一氏のマーメイド4号を展示。

TEL.0798-33-4888 西宮浜4-13-4
10:00～17:00(入館～16:30) 入館有料
休:水曜(祝日は翌日)、年末年始、夏休み期間中は無休

甲子園おみやげロード

JR甲子園口駅から阪神甲子園駅周辺には、夙川のスイーツロードにも負けないほどに、質の高い和洋菓子店が点在しています。それぞれの工房では甲子園をイメージした和洋スイーツを開発。工夫を凝らした甲子園みやげは地元の人もに愛されています。



まだまだあります!
必見スポット

C-3 甲子園浜海浜公園

「ふるさと海岸地区」は阪神間に唯一残された自然の砂浜・干潟・磯がある貴重な浜。

TEL.0798-46-3193(公園管理事務所)

A-3 新西宮ヨットハーバー

日本有数の規模を誇る。年間を通じてさまざまなイベントも。

TEL.0798-33-0651 西宮浜4-16-1

D-1 リゾート鳴尾浜

リゾート気分をたっぷり味わえる複合スパリゾート。
TEL.0798-42-2161 鳴尾浜3-13

D-3 キッズニア甲子園

子どもの職業・社会体験施設。対象3～15歳。有料・要予約。
TEL.0570-06-4343
甲子園八幡町1-100らぽーと甲子園3020

D-3 クリエイトにしのみや

西宮市情報発信スペース。
TEL.0798-41-7676
甲子園八幡町1-100らぽーと甲子園内
ピンウィールコート2F

旧甲子園ホテル物語

甲子園ホテルは昭和5年(1930)に、帝国ホテルの支配人・林愛作の理想に基づいて計画されたリゾートホテルでした。設計は建築家フランク・ロイド・ライトの愛弟子、遠藤新。当時は「東の帝国ホテル、西の甲子園ホテル」と並び称され、皇族などの社交場として賑わいました。

現在は武庫川女子大学甲子園会館として、女子大としては珍しい建築学科の校舎に。また、地域の生涯学習の場としても使われています。打出の小槌をイメージしたオーナメントや緑の瓦、天井の障子など、日本の伝統美をいかした洋式建築は、今に息づく貴重な教材です。

国登録有形文化財(文化庁)／近代化産業遺産(経済産業省)／景観形成建築物(西宮市)



建築

F-6

武庫川女子大学 甲子園会館

TEL.0798-67-0079(庶務課)
戸崎町1-13 ※見学要予約

